

英語表現 I 学習指導案

指導者 県立磯原郷英高等学校 教諭 浪打 千春

1 単元名 Lesson13 ヒエログリフ / SELECT English Expression I (三省堂)

2 単元の目標

- 自分の意見を英語でまとめ、相手が理解しやすいように工夫して表現しようとする。また、発表の内容について、質疑応答を続けようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 既習の単語や現在分詞・過去分詞の後置修飾を使って、与えられたテーマについて自分の意見を簡潔に書いて、発表することができる。(外国語表現の能力)
- 現在分詞と過去分詞の後置修飾を理解する。(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

ヒエログリフやロゼッタストーン、またジェスチャー等の意志伝達方法について、文法事項を扱った言語活動を通して学ぶことができる内容になっている。文法事項は、分詞の後置修飾を扱う。また、過去分詞と現在分詞の意味や使い方の違いについて演習を通して学ぶ。

(2) 生徒の実態

本学級は、進学希望者が多く、入学当初から基礎的な語彙力の定着をねらい、言語活動や小テストを行っている。2年次からは、文法の反復練習を取り入れ、夏休み以降は毎回の授業に英作文の時間を取り、実際に文法を活用できる場面を設定している。しかし、英作文を行う際、まだ、基礎的な語彙や文法事項の理解が不十分で、自分の意見を英語で書くことに苦手意識を持っている生徒は少なくない。動詞の活用の知識が十分である生徒は*割程度である。

(3) 指導観

語彙については、大学入試センター試験頻出の単語から日常会話の中で特に重要なものから単語リストを作成し、週に1度単語テストを行って定着を図る。その単語リストの単語を使って英作文を行ったり、さらに定期テストにも出題したりして、さらに単語力を強化したい。文法事項の説明は、生徒が理解を深められるよう、場面に応じてプロジェクターを使って行う。文法問題を練習させた後、既習の文法を使ったペアワークやグループワークを行い、実際に文法を使う場面を設け、定着を図る。表現力を付けるために、まず、高校生の間で流行しているものや、生徒が意見を書きやすいものをテーマに選び、生徒のライティングに対する抵抗を減らしたい。生徒が自分で書いた英文を発表することを想定してライティング活動を行う。その際、他の生徒が理解しやすい単語と内容を選ぶようにさせ、他の生徒はその発表に対する意見を英語で話すよう促す。これらにより、表現を工夫して書く力の育成を図りたい。

4 指導と評価の計画 (2時間扱い)

時	学習内容・活動	関	表	知	主な評価規準〔評価方法〕
1 本 時	導入、文法事項を使った演習、英作文		○		・既習の単語や現在分詞・過去分詞の後置修飾を使って、与えられたテーマについて自分の意見を簡潔に書いて、発表することができる。 〔ノート・観察〕
2	文法事項を取り入れた会話表現や質疑応答、問題演習	○		○	・自分の意見を英語でまとめ、相手が理解しやすいように工夫して表現しようとしている。また、発表の内容について、質疑応答を続けようとする。 〔観察〕 ・現在分詞と過去分詞の後置修飾を理解している。 〔ノート・ワークシート〕

5 授業の展開

(1) 本時の目標

- 既習の単語や現在分詞・過去分詞の後置修飾を使って、与えられたテーマについて自分の意見を簡潔に書いて、発表することができる。(外国語表現の能力)

(2) 展開

学習内容・活動等	指導上の留意点・評価(評価方法)
<p>0 単語の小テスト(7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語に合うように()に英単語を入れ、英文を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめリストを配布しておき、その中から10題抜粋して小テストを行う。交換採点をし、7点以上を合格にし、小テストの配点に点数を加える。6点以下の生徒には間違い直しを提出させ、提出物の点数に加える。
<p>1 Warm Up (8分) 【英語クイズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒達がグループ毎に作成した問題に答える。 <p>グループA (例)</p> <p>I have two or three eyes. Each of them has different color. I can stop you. If you don't see me, you will be in danger. Who am I? Answer: traffic signals</p> <p>2 導入・文法説明 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> I saw a dog barking outside. ~している I ate bento made by my mother. ~された <p>3 問題演習 (8分)</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> These are flowers (picking / picked) by my classmates. Miku is that girl (弾いている) the violin. より適切な表現はどっち? 「今日見たコンサートはすごく良かった。」 It was an (exciting / excited) concert. <p>4 英作文・発表 (17分)</p> <p>英作文(個人)</p> <p>①Question: Do you have anything made in foreign countries? — (例) Yes. I have a bag made in America/ China.</p> <p>②Mission: Chose your favorite Japanese song. Translate one phrase of it into English.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時にグループで作成したクイズ(ある物について、その状態や様子を説明する英文(3~5文程度))を準備させておく。 発表者が他の生徒の前で一通り英作文(クイズ)を発表した後、生徒の英作文をプロジェクターに映し、他の生徒が理解しやすくする。 グループ対抗戦にし、正解したグループに英文理解の得点を加算する。 現在分詞と過去分詞の違いが分かるよう、プロジェクターを使いながら説明する。 単語テストで扱う単語リストの語彙を入れながら問題を作成し、生徒がなるべく辞書を使わずに解けるようにする。 机間指導を行い、つまづいている生徒を支援する。 解答をし、授業の最後にノートを提出させ、各生徒の理解の度合いを把握する。 英作文を2題出題する。1つ目は本時の文法を使ったもの、2つ目は生徒が好みやすいテーマの英作文にする。

発表 (グループ)

4人グループになり、順番に、作った英作文を発表する。

- ・司会が Question 等を行い、1人が発表する。他の3人は質問を考え、ノートに英語でメモする。発表が終わったら、英語で質問する。

Student A (発表者) : I have clothes made in India.

Student B (質問者) : Where did you get them?

Student A (発表者) : I bought them in Mito.

5 本時のまとめ・自己評価 (5分)

- ・発表の後に、必ず質問をするように伝える。
- ・本時の文法 (過去分詞) が正しく使われているか、ノートを提出させ、確認する。
- ・発表の時に他の生徒に伝わりやすい表現で話しているか、グループの生徒は発表者の英語を聞き取り、理解しようとしているかを観察し、生徒を称賛する。

評 既習の単語や現在分詞・過去分詞の後置修飾を使って、与えられたテーマについて自分の意見を簡潔に書いて、発表することができる。

(ノート・観察)